



平成 26 年 1 月 14 日
内閣府子ども・子育て支援新制度施行準備室

「子ども・子育て支援新制度」シンボルマークについて

今般、平成 27 年 4 月の本格施行を予定している「子ども・子育て支援新制度」を広く国民に知っていただくため、シンボルマークを作成いたしました。今後、新制度に対する国民の理解と共感を深めるため、広報啓発活動等に活用していきます。



「子ども・子育て支援新制度」シンボルマークについて

○ 制作コンセプト

子ども・子育て支援新制度は、質の高い教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を実施し、妊娠、出産から育児までの切れ目ない支援を行うことを通じて、全ての子どもが健やかに成長するように支援するものです。

メインコピーの「すくすくジャパン！」には、新制度において充実を図っていく支援によって、子どもたちにすくすく育てほしい、ママやパパにも親としてすくすく育てほしい、という思いが込められています。また、サブコピーとなる「みんなが、子育てしやすい国へ。」には、行政をはじめ社会全体で誰もが安心して子育てができ、「子どもの最善の利益」が実現される国にしていこう、というメッセージが込められています。

ビジュアルは、新制度の中心である子どもたちによる「鼓笛隊」をモチーフとし、元気に演奏する個性あふれる子どもたち(乳児・幼児・小学生)の姿により、新制度への共感や、親しみを感じていただけるものとなりました。メインコピーのロゴとイラストを描いてくださったのは、絵本作家として活躍されているのぶみさん(別添)。新制度の意義にご賛同いただき、無償でご協力いただきました。

○ 作成の経緯

総合評価方式により選定された代理店に複数案の作成を依頼。専門的な意見を聴くため、コピーライターのこやま淳子さん、シンガーソングライターの新沢としひこさん、アートディレクターの永井一史さん、子育て支援に取り組むNPO法人代表の松田妙子さんをメンバーとする検討委員会を開催。併せて幅広い意見を聴くため、一般の方を対象にした調査も実施。一般調査の結果等も踏まえ、検討委員会での議論を元に内閣府において決定。

○ シンボルマークの使用について

シンボルマークは、営利目的など作成趣旨に反する使用はできません。「子ども・子育て支援新制度シンボルマーク使用要領」に基づく手続を行っていただいた上で使用していただけます。

○ リンクバナー

シンボルマークを利用したリンク用バナーを公開しています。

URL : <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/symbol/link.html>

子ども・子育て支援新制度ホームページへのリンクにご活用ください。

☆絵本作家資料

子ども・子育て支援新制度の意義にご賛同いただき、ご協力いただきました。

NOBUMI(のぶみ)

1978年 東京生まれ。

NHK「母と子のテレビタイム」にて7年間アニメが放送される。
代表作として「ぼくのともしち」(NHK"おかあさんといっしょ")
「ガギグゲゴーギンガくん」(NHK教育テレビ)など。

最近では、NHK「みいつけた！」の「おててえほん」のアニメーション担当。福島の子供たちを支援するキャラクター「あたまがふくしまちゃん」が、ゆるキャラグランプリ2013で、東北1位！(全国16位)の人気に。作詞をてがけた「おしりフリフリ(作曲・中川ひろたか)」は子どもたちに大人気となっている。絵本作品は70冊以上、発表作品は500作以上におよぶ。



「しんかんくんシリーズ」
「はなちゃんのこいびと」
「るんたのおねつ」
「とりおとこ」
「ことば記念におくる絵本 ねずみのチュウ」
「ぼくとなべお」他

